

つぶに弾力がある  
新  
月  
目

### ぶどうの歴史

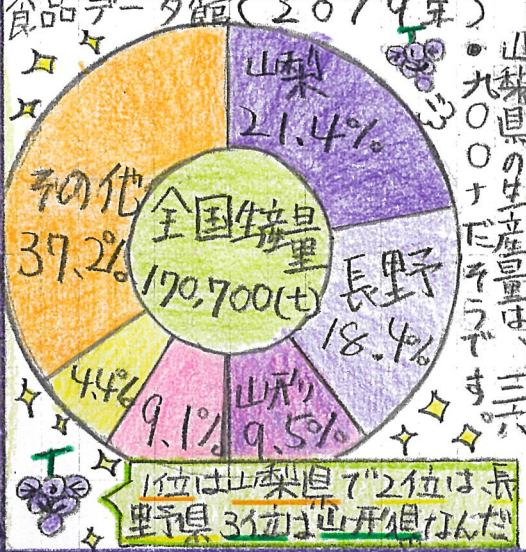
ぶどうは、栽培の歴史が古く、世界各地で親しまれてきた果実です。生で食べることも多いですが、実は日本などでは、外では主にワインの原料として栽培されています。皮の色は原料として栽培する品種によって、紫、青、黒、白、赤などがあります。皮の厚さは品種によって異なります。また、皮の表面にはワックスが塗られており、これは果実を傷から守る役割を果たしています。また、皮にはポリフェノールやビタミンCなどの栄養成分が豊富に含まれています。近年では、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。また、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。

### ぶどうの選び方

新鮮なぶどうは、果皮にも果汁がたっぷりと含まれています。選ぶ際は、果皮の色が鮮やかで、粒がしっかりと付いているものを選びましょう。また、果皮の表面にはワックスが塗られており、これは果実を傷から守る役割を果たしています。また、皮にはポリフェノールやビタミンCなどの栄養成分が豊富に含まれています。近年では、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。また、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。

井堀小  
5の2  
安藤瑠璃  
マスケット  
キャラクター

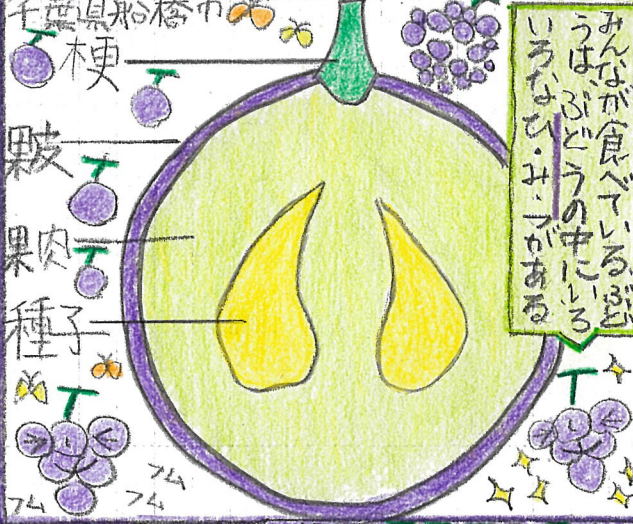
### ぶどうの生立生日里



### ぶどうの収穫時期

ぶどうの収穫時期は、品種や地域によって異なります。一般的には、8月から10月にかけて収穫が行われます。早生品種は7月下旬から8月上旬、中生品種は8月中旬から9月上旬、晩生品種は9月中旬から10月下旬にかけて収穫されます。収穫時期は、品種や地域によって異なります。一般的には、8月から10月にかけて収穫が行われます。早生品種は7月下旬から8月上旬、中生品種は8月中旬から9月上旬、晩生品種は9月中旬から10月下旬にかけて収穫されます。

### ぶどうの断面



### ぶどうの花

ぶどうの花は、花弁が小さく、雄蕊が長い特徴があります。花は、葉の裏側に咲きます。花の構造は、雄蕊と雌蕊に分かれています。雄蕊は、花粉を運ぶ役割を果たします。雌蕊は、花粉を受け取り、果実を育てる役割を果たします。花の構造は、雄蕊と雌蕊に分かれています。雄蕊は、花粉を運ぶ役割を果たします。雌蕊は、花粉を受け取り、果実を育てる役割を果たします。

### あまくておいしい ぶどう大福の作り方

- 材料(8こ分)
- ① 巨峰 150g
  - ② 白あん 100g
  - ③ 白玉粉 100g
  - ④ 砂糖 50g
  - ⑤ 塩 少々
  - ⑥ 水 少々
  - ⑦ 片栗粉 少々



- ① 巨峰は皮をむき、8等分に切ります。
- ② 白玉粉を水で練り、砂糖・塩を加えて煮詰めます。
- ③ 白玉粉を水で練り、砂糖・塩を加えて煮詰めます。
- ④ 白玉粉を水で練り、砂糖・塩を加えて煮詰めます。



感想  
私は、ぶどうの皮をむくのが大変でした。でも、皮むきぶどうを食べると、皮の美味しさがわかります。また、皮にはポリフェノールやビタミンCなどの栄養成分が豊富に含まれています。近年では、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。また、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。

感想  
私は、ぶどうの皮をむくのが大変でした。でも、皮むきぶどうを食べると、皮の美味しさがわかります。また、皮にはポリフェノールやビタミンCなどの栄養成分が豊富に含まれています。近年では、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。また、皮を剥かずに食べる「皮むきぶどう」や、皮ごと食べる「皮むきぶどう」などの品種も登場しています。